

第61号

平成31年1月

友愛

編集・発行 愛荘町愛知川老人クラブ連合会

〒529-1313 滋賀県愛知郡愛荘町市731
福祉センター「愛の郷」内 ☎0749-42-7757

賀正

皆様のご健康を
心からお祈り申し上げます

伸ばそう健康寿命
担おう地域づくりを
本年も頑張ろう



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様、お健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日頃は、愛知川老人クラブ連合会の事業にご協力頂き、誠にありがとうございます。
今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成最後の敬老の日の新聞記事を抜粋しますと、日本の総人口に占める七〇才以上の割合は、二〇・七%、人数は、百万人増で二六一八万人。滋賀県内でも百才以上の女性六五〇人、男性八五人、日本の高齢化率は、世界最高の長寿国というそうです。
全国老人クラブ百万人会員増強五カ年運動も最終年です。愛知川老人クラブも新年度には入会者が増える事を期待します。
それには会員の皆様が、元気で楽しく魅力的な笑顔で活動している姿を見て頂くことも、増員につながるのではないかでしょうか。
今後の皆様方の健康とご多幸を祈念して新年のご挨拶とさせて頂きます。

愛知川老人クラブ連合会
会長 福永 一枝



新年のごあいさつ



誰もが生涯現役で活躍する「ひとりづくり」を一体的に推進するため「地域福祉課」と「長寿社会課」を統合し「福祉課」を創設しました。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

平素は、老人クラブ連合会・単位老人クラブの活動を通して、福祉のまちづくりに温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、急速に高齢化が進行する今日、認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増えつつあり、福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。

こうしたことから、地域住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティをつくりあげ福祉サービスと協働して、お互いに助け合いながら暮らす「地域共生社会」の実現が求められています。

それに向け町として、昨年十一月に高齢者や障がいのある人をはじめます。

最後になりましたが、愛知川老人クラブ連合会の今後ますますのご発展をご祈念いたしますとともに、希望に満ちた明るい一年となりますよう心からお祈りいたします。

愛知川老人クラブ連合会会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、社会福祉協議会の事業活動各般に亘り、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化と人口減少など社会構造が変容するなか、国ではあらゆる場で誰もが活躍する全員参加型の社会参加を目指した、一億総活躍プランが進められる中、福祉分野においても、支え手側と受け手側で分かれるのではなく、地域の住民が役割を持ち、支え合いながら活躍できる地域コミュニティの育成が求められています。

本年は、各プロジェクトの具体的な計画が進められるよう取り組むこととしていますので引き続き、皆様の一層のご支援とご協力をお願ひいたします。新年のあいさつとい

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は、老人クラブ連合会・単位

支援・見守り体制の充実を進めながら、高齢者が住み慣れた地域でいきいき暮らせる福祉のまちづくりを目指してまいりたいと考えています。

また、百万人会員増強運動につい

て積極的にご活動をいただいていることは、当町のまちづくりにおいても非常に重要なことと認識しております。今後とも皆様が培つてこられた豊富な知識や経験を本町のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉協議会では、「みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」の理念のもと、第2次愛荘町地域福祉活動計画において見守り活動など住民・関係機関のネットワークの拡充、生活に課題を抱える方への支援、地域における福祉教育、ボランティア活動や災害支援活動を中心としたプロジェクトとして住民の皆さんをはじめ、関係機関や関係者の参画のもと、魅力ある福祉活動に取り組んでいるところです。

本年は、各プロジェクトの具体的な計画が進められるよう取り組むこととしていますので引き続き、皆様の一層のご支援とご協力をお願ひいたします。新年のあいさつとい



愛荘町長 有村 国知



新年の挨拶

社会福祉法人愛荘町社会福祉協議会

会長 北村 太一郎



新年明けましておめでとうございます。

生社会」の実現に向けて各分野において取り組みがすすめられているところです。

昨年は、日本各地で地震や風水害などが発生し、本町におきましても、台風21号等により被害が各所で発生いたしました。改めて自然災害の怖さと防災に対する準備の大切さを考えさせられました。

愛知川老人クラブ連合会会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、社会福祉協議会の事業活動各般に亘り、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化と人口減少など社会構造が変容するなか、国ではあらゆる場で誰もが活躍する全員参加型の社会参加を目指した、一億総活躍プランが進められる中、福祉分野においても、支え手側と受け手側で分かれるのではなく、地域の住民が役割を持ち、支え合いながら活躍できる地域コミュニティの育成が求められています。

地域のなかにある福祉課題を住民やボランティア、福祉専門機関と企業などが協働し、課題解決に向けて取り組む「我が事・丸ごとの地域共



平成30年度 第2回愛荘町愛知川老人クラブ連合会 単位老人クラブ正副会長会議開催

副会長 大角 貞雄



八月二十四日（金）、愛知川老人クラブ連合会単位老人クラブ正副会長会議が、愛の郷に於いて開催されました。福永会長の挨拶の中で、前夜の台風二十号による被害が心配される中、出席いただき皆様へのお見舞が述べられました。全国老人クラブ連合会百万人増強運動五ヶ年計画最終年でもあり、加入促進へのさらなる努力をお願いする旨の協力依頼がありました。

愛の郷の主な議題は、第四回愛知川老人クラブのつどいに於いて、育成功労表彰に西堀日帰り旅行、グラウンドゴルフ・ゲートボール大会等、地域間交流を深める行事に併せて、各地区で取り組まれている高齢者ふれあい居成事業も確認され閉会となりました。

八月二十四日（金）、愛知川老人クラブ連合会単位老人クラブ正副会長会議が、愛の郷に於いて開催されました。福永会長の挨拶の中で、前夜の台風二十号による被害が心配される中、出席いただき皆様へのお見舞が述べられました。全国老人クラブ連合会百万人増強運動五ヶ年計画最終年でもあり、加入促進へのさらなる努力をお願いする旨の協力依頼がありました。

愛の郷の主な議題は、第四回愛の郷に於いて、育成功労表彰に西堀日帰り旅行、グラウンドゴルフ・ゲートボール大会等、地域間交流を深める行事に併せて、各地区で取り組まれている高齢者ふれあい居成事業も確認され閉会となりました。

嘉一郎さん、宇野重一さん、塚本章さん、優良老人クラブに東円堂西老人クラブが表彰されることになりました。

十月十二日（金）開催の愛知川老人クラブのつどいのメインテーマに、「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」を

時代にあって「健康・友愛・奉仕」の精神の増進・活動基盤の強化と活性化の重要性が確認されました。

記念講演には「健康寿命を伸ばすには」と題して、県健康医療福祉部理事 角野文彦氏にお願いすることになりました。

次に愛知・犬上老人クラブ大会、会員親睦日帰り旅行、グラウンドゴルフ・ゲートボール大会等、地域間交流を深める行事に併せて、各地区で取り組まれて居成事業も確認され閉会となりました。



人権研修会 交通安全教室 特殊詐欺被害防止研修会

理事 青木 芳子

去る七月十三日（金）福祉センターライの郷に於いて研修会が開催され、

単位老人クラブ会長、副会長をはじめ各地区代表の方々が参加されました。

第一部の人権研修では、西川裕治先生の「高齢者の人権について」のお話でした。さまざまな人権について、ユーモアを交えながらクイズをしました。クイズは頭の体操になり、日常忘れている人権に気付かされ勉強になりました。

第二部は交通安全について、愛知川警部交番所 松宮衛所長の話です。最近の交通事故は、高齢者が加害者や被害者になることが少なくない。交差点左折・右折ハンドルのきり方、車間距離による事故、アクセル、ブレーキの踏み間違えが多い。

事故後の証明になるからと言われた。最後に特殊詐欺被害防止対策の研修では、高齢者を標的とする詐欺師の電話やハガキによる巧妙な手口、覚えのない番号には出ないようにすることが被害の防止につながることを学びました。

後半は、島川の願生寺仏教婦人部たんぽぽの皆さん寸劇でわかりやすい説明で、自分だけは大丈夫と自己負せず身近な人に相談してから行動に移す必要性が実感出来た研修でした。

第4回 愛荘町愛知川老人クラブのつどい

テーマ「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを！」

副会長 西岡 勝義

十月十二日、愛知川公民館で愛知川老人クラブ連合会の第四回目のつどいに約三百名が参加し開催。君が代斎唱で始まり、物故者への黙祷が捧げられました。福永会長の開会あいさつに続き育成功労者として西堀嘉一郎さん、宇野重一さん、塚本章さんの三名が表彰を受けられました。また、優良老人クラブとして東円堂西老人クラブが受賞されました。

次に来賓の有村町長、秦荘老人クラブ連合会宇野会長から祝辞をいたしました。

単位老人クラブ活動報告は、長野西老人クラブ長和会の千藤会長からパワー・ポイントを使って、クラブの積極的な取り組みを紹介され、参考にさせていただけたことが多



くありました。

記念講演は、滋賀県健康医療福

祉部理事の角野文彦さんから「元気高齢者を目指して」をテーマに笑いと健康について、今日までの体験をもとにユーモアたっぷりに話されました。

アトラクションは、フォークダンス部の皆さんによりダンスを披露。最後に全員で「青い山脈」を合唱して本つどいを閉じました。

さわやかな秋晴れのもと十月十九日（金）老々連の日帰り旅行が実施されました。

アトラクションは、フォークダンス部の皆さんによりダンスを披露。最後に全員で「青い山脈」を合唱して本つどいを閉じました。

九日（金）老々連の日帰り旅行が実施されました。会員四十七名を乗せたバスは、一路高速道路ではなく一般道路を走行、途中滋賀

三重の県境の四百メートルの長い長いトンネルを抜けながら車中楽しく語り合い、昨年リニューアルされた天然温泉「湯守座」へ向かいました。

旅行の一番の楽しみである昼食の幕の内弁当をいただきながら、一時間三十分の一時を過ごし、会員相互の親睦を深めることができました。

その後大衆演劇を観、笑いの中たっぷりと観賞しました。そのあと、中には入浴を楽しめた方、ゆっくりとされた方、思い思いのひとときを過ごしました。

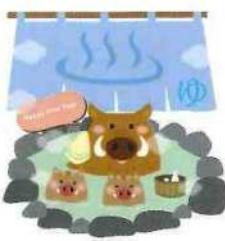
最後の見学地、名古屋城本丸御殿を一通り見たあと、金シャチ横丁で再び家族やおとなりさん親戚

会員親睦日帰り旅行

新名所名古屋城本丸御殿・金シャチ横丁と天然温泉「湯守座」で入浴 大衆演劇観賞へ

理事 居嶋 喜代久

の顔を浮かべながら、楽しくおみやげを選びました。その後バスにて帰路につきました。次回も皆さんとの再会を約束しながら本当に楽しい旅をさせて頂きました。



町長との懇談会

副会長 北岸 茂子

万人運動が本年で終了する為、会員増強運動にも力をいれていた事など話された。理事の方からも、老人クラブに対し、指導・育成にも関わってほしい要望も伝えられた。

最後に町長さんから、町としては、愛荘町も高齢化が進む中、



説明し、会長から、未組織の地域に声かけをしたり、自治会の方へ訪問して、広報紙など配布していただくようになると苦心を重ねているが、なかなか加入の声も聞かれず、行政の方からも何らかの声かけをしてほしいと要請しました。

最後に長寿社会課居島課長さんから、出前講座もしてるので、声かけをしてほしいとの内容でした。わずか一時間余りでしたが、有意義な懇談会を終了しました。

九月二十七日（木）愛荘町役場に於いて、町長と愛知川老人クラブ連合会の会長、副会長、理事、事務局の五人と懇談会が開催されました。

長生きの秘訣は、やはり老人クラブで活躍しておられるのでは、など話され、例として、会長さんとの対談を広報にて知らす等、あかぬけた老人クラブで、元気なシニアをめざすように、洒落た形をとつていく事も大事ではないかと締められた。

十一月八日(木)愛知川老人クラブ連合会のグラウンド・ゴルフ大会が、中央スポーツ公園グラウンドゴルフ場にて開催されました。

一二五名の会員の参加を頂き有難うございました。保健体育副部長のピストルの合図により競技が開始されました。会員の皆様の糸が一層深まり、穏やかな雰囲気のうちに楽しく大会は終了いたしました。

成績は左記の通りです

優勝 中村貞次郎(川久保)
準優勝 辻満寿男(川久保)

第三位 栗本 哉巳(市)

第24回ゲートボール大会

平成三十一年九月二十五日(火) 愛知

第三位 敢闘賞 山川原Bチーム

理事 羽田 旬子



第32回グラウンド・ゴルフ大会 理事 藤居 和雄

第57回滋賀県老人クラブ大会に参加して

副会長 藤居 喜久男



本大会が、十一月二十一日（水）滋賀県立文化産業交流会館において、七百余名が参加する中盛大に開催されました。

滋賀県老人クラブ連合会会長の挨拶の後、知事表彰、連合会会长表彰があり、当クラブからは、長野西老人クラブ長和会が優良老人クラブの賞を受賞されました。

滋賀県知事、滋賀県議会議長、開催地米原市長からそれぞれ祝辞がのべられた後、大会宣言がありクラップの賞を受賞されました。

午後の講話は、地震災害から身を守ることの大切さをユーモアたっぷりに教えて頂きました。講演では、高齢者もいつまでも夢と目的を持つて意欲を持ち続け、元気高齢者として生き抜くことがいかに大切なことかを力説され、思わずそうありたいと聞きほれるお話をでした。

最後に、青い山脈を合唱し、閉会しました。



受賞された長和会 会長

十一月二十日（火）に開催されたフラワーアレンジメント教室に参加しました。

晚秋というのに陽光が明るく射しこみ、教室の雰囲気はとても和やかでした。

中里先生の指導で六種類の花材を水に浸したオアシスというものに刺していくのです。

中里先生、ご指導ありがとうございました。

玄関に飾りお客様にも喜んでいた品を記念してハイパチリ!!

作業中の皆さんのお顔は、真剣そのもの。立派な菊の花をバツサリと短く切るのには少し迷いましたが、切った茎は挿し木にしようと思いました。

太い茎は、すぐに刺さるのですが、細い茎は、中々刺さらずに手間取りました。

存在感のある菊の豪華さ緑・紫・白・桃、彩りもバランスよくまとまり上出来。

皆さんの個性あふれた作品が出来上がり、他の方々の作品を鑑賞し合



フラワーアレンジメント 教室に参加して

小暮 富美子



長野西老人クラブ活動状況

長野西長和会女性会長 伊谷 つや子

◎子ども見守り隊の活動

子ども見守り活動は十年前からスタートしました。毎年四月に見守り隊員を募り、毎年約六十名の参加をいただき、男女ペアの組み合わせで週三回の割で、年間四五回の出役の見守り活動を行っています。

見守りの場所は、大龍神社鳥居前の町道で、子ども達の下校時に一人ひとりに「お帰り」と声掛けをしますと、元気な声で子ども達からは「ただいま」と声が返ってきます。私たちも元気をもらい、暑い日も、寒い日も、雨の日も声掛けをしながら、子ども達の日々の成長の姿を見ながらの見守り活動に頑張っています。

◎手芸部の活動

長和会のクラブとして、女性の手芸部があります。

四月に入部の参加を募り、早々に皆が一緒に年間計画について話し合いで決めます。五月は、長野淨苑の六地藏と他四



地蔵の夏用、冬用の前掛けづくりをしました。生地や柄合わせに一工夫でした。また、ゴキブリ退治の団子づくりも行いました。



六月は、夏のカバンづくりで部長が計画と試作品を作り、各自が何をどのように作るか話し合い、糸選びにも工夫し、何回となく寄り添つて作品を仕上げていきます。



夫々にあつた作品づくりに力があり、世の中に一つしかないと言い聞かせ作品を仕上げ、苦労話に花を咲かせました。

十月は、来年の縁起干支（亥）づくりを、楽しみながら仕上げることができました。そのあと年一回の手づくりの料理を創り、みんなで食事会をしました。

手芸部は、先輩のみなさんから色々と教えていただき、今まで続ける事ができましたことに感謝し、さらなる発展を願うものです。

「温かさ」と「暖かさ」(料理教室)

刈間 山岡 婦美子

今年度料理教室四回目の今日は、血液サラサラ、脳を活性化する青魚の代表サバを使った「サバのソテー黒酢あん」それと「ごぼうのサラダ」「豆腐とかにかまの中華炒め」ともう一品は「さつまいもの茶巾絞り」

収穫できたばかりでビタミンCと繊維を豊富に含んでいるさつまいも、可愛く絞りました。四品の献立で先生の指導のもと

テーブルごとに、食材を切る人、味つけ担当、調理等協力しあいながら手際よく進めます。全員料理はプロ並みのシェフばかりあつという間に完成。「いただきます」



最近は、家族が減り揃つて食卓を囲むお家も少なくなつたよう思います。私事ながら主人と二人で食する毎日です。一昔前の三世代揃つて食卓を囲んだ事を懐かしく思います。今日あつた出来事、おもしろかつた事、失敗した事、家族の中に笑いが多くありました。主人とトラブつた時など早々と食し席を離れます（笑）。時代の移り変わった今日、考えさせられます。でも大事な食生活。今夜は何にしようかなあ。料理教室で学んだメニュー等を取り入れながら、認知予防に知恵を働かせ献立を工夫し健康で毎日を過ごしたいものです。おいしかった料理教室。「ごちそうさま」でした。

満面の笑みを湛える円空仏
　　亡き母偲びて立ち去り難し
食べ物を煮炊きたるか縄文の
土器の内側に焦げ跡のあり
田舎風の耐震基準の満たぬ家に
ゆつたり夫と二人住み古る
かさこそと蝗飛び交う秋の田に
素手に捕まへ食料とせし時

野崎 恵子

短歌

まだ繞く土産話やみかんむく
秋の空つづいてみたき深さかな
参道は落葉しぐれや紫香楽宮
まぼろしの紫香楽大仏秋深む
コスマスのさよならをする道の駅
宮跡の礎石数多や末枯る
紫香楽宮の榮華はいすこ枯葉舞う
しがらきやもみじとたぬきお出迎え

辰巳 静子
岡田 そゑ
塚本 美知子
北邑 禧史子
中嶋 初子
久保田 和子
西村 芳子
西村 和子

俳句

信樂吟行句
当季雜詠

愛知川俳句会



友愛へ投稿いたいたい皆様大変ありがとうございました。「一年の計は元旦にあり」計画を立て実行を決意したことが何回あつたことか…。

立た計画が三日坊主に終わつては
何にもなりませんが…。
これは私自身の自戒の念。
元氣高齢者で、今年も頑張りま
しょう。

(広報部 藤居喜久男)

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間

③ 補償範囲：掛金タイプ

1		24時間型 <small>（クラブ活動中に・クラブ活動中以外でも保険です。）</small>				2	
		日常生活全般（24時間）の保険です。				活動型 <small>（クラブ活動中とその往復旅途中に限ります。）</small>	
■ クラブ活動中のケガの場合、白枠 + 黒枠グレーの合計額を請求金額が支払われます。						■ クラブ活動中のケガの場合、下表の保険会員が支払われます。 クラブ活動以外のケガの場合には請求されません。	
年額会員		10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況		活動中のケガの場合		活動中のケガの場合		活動中のケガの場合	
箇印内保険会員		活動中のケガの場合		活動中のケガの場合		活動中のケガの場合	
死亡 保険金		170万円 387万円		217万円 414万円		85万円 194万円	
後遺障害 保険金		170万円 170万円		— 85万円		85万円 45万円	
入院保険金 日額 <small>（年間につき200日額）</small>		4,000円 6,280円		2,000円 3,140円		1,140円 1,950円	
通院保険金 日額 <small>（年間につき250日額）</small>		2,600円 4,300円		1,300円 2,150円		850円 1,250円	

（24時間型）の種類別A型は就労・就業者（勤務リスクの高い職業）等です。B型（勤務リスクの高い職業）については、下記をご参照ください。

ご注意 ●種類別B級に該当するおもな職種

- 建設作業者、白鳥運送運転者、採石・採石作業者などの傷害リスクの高い職業。
- 上記に該当する者は、保険金額が更に高くなります。
- 詳しくは販売代理店様もしくは引受け保険会社にお問い合わせください。

賠償責任保險

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ（全員加入が条件となります）
 ② 保険期間：毎年10月から1年間
 ③ 掛金：1人年額100円（最低引受保険料3,000円）
 ④ 補償：支払限度額1億円